

海岸を美しく

二千人が参加して一斉清掃



実施しているもので、今回で六回目。
参加者は、くま手を使ってゴミを集めたり、ゴミ袋を手に空き缶を拾うなど、約二時間にわたって清掃作業を繰り広げました。

今年は、昨年よりもゴミの量は減ったものの、空き缶やビニールなどが相変わらず散乱し、参加した地元住民からは、上流河川のゴミの不法投棄や釣り人のマナーの悪さなどを指摘する声も上がっていました。

集めたゴミのうち、燃えるものはその場で焼却し、不燃物は回収しましたが、回収した分だけでも二トトラック九台分。
川に捨てたゴミも海へ流れつきます。一人一人が注意し合って、きれいな浜辺を守っていきましょう。

早朝から三千人が浜辺を清掃
「きれいな浜辺はみんなのほこり」と、海岸愛護運動月間中の七月二十四日、朝六時より久枝から十市までの海岸を、地元の住民や子ども会、婦人会の皆さんら約二千人が一斉清掃しました。
これは、建設省高知工務事務所、県南国土事務所、海岸地域美化推進協議会及び市が主催して毎年

がんばりっ子は 食事から 母と子のフッキング教室



燃えないゴミは手に持ったゴミ袋に
▲散乱するゴミをくま手でかき集めた



親子で楽しくフッキング
(白木谷)

最近では手作りの食事や家族が楽しく食卓を囲む習慣も薄れがちです。そこで、母と子に料理を通じて食事の大切さ、楽しさを学び合ってもらおうと、白木谷、三和、岡豊、十市地区で「母と子のフッキング教室」が開かれました。

人事異動

選挙管理委員会事務局長大崎龍三氏の逝去に伴い、市は七月二十七日付けで次のとおり人事異動を発表しました。
選挙管理委員会事務局次長 松岡龍男(税務課課長補佐兼市民税係長) ▲税務課市民税係長 杉本健(税務課主事)

長宗我部氏

長宗我部氏は土佐に入国以来宗我部郷を本拠にしており、古くから岡豊城を居城にしていたと思われる。

十九代兼序の時代に周辺の有力国人の攻撃を受けて子国親は薩多の一条氏のもとに逃れた。その後、永正十三年ごろ岡豊城を再興し、国親の子元親の時代に四国を平定したが、天正十三年に豊臣秀吉の四国征討を受けて土佐一國の所領を安堵された。天正十六年に居城を高坂城に移転。

三ノ段に 石垣の存在を確認 第4次岡豊城跡発掘調査



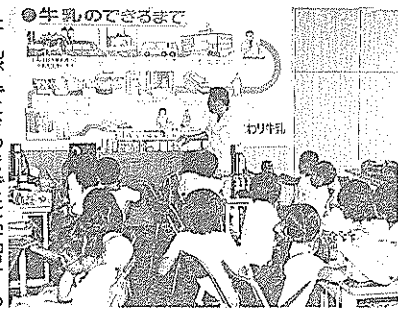
三ノ段で検出された礎石群と石垣

第四次岡豊城跡発掘調査が六月二十二日から八月十日まで行われ、石垣などが確認されました。
長宗我部氏の居城岡豊城の発掘調査は、県立歴史民俗資料館建設に伴い、建設予定地である岡豊山の岡豊城跡を調査し、中世城跡としての姿を解明、その保存修繕計画を検討するための資料を得るために、昭和六十年から五年計画で県教育委員会が行っているものです。

これまでに、二ノ段、三ノ段の一部などを調査。櫓や主殿屋敷と思われる遺構が確認され、中心部の配置、構造についてはかなり明確になってきました。
今回は二ノ段と三ノ段の一部約二百平方メートルを調査し、石垣などを検出しました。
二ノ段の調査では土塁の断面に炭化物の層を確認。これは兼序の時代に本山、吉良、大平、山田の連合軍に攻められ、落城したときのものと思われる。また、端になるに従って盛土の層が厚くなっていることから、山を削り取る一方盛土によって先端を形作るなど、かなり大規模な造成工事が行われていたことが想像されます。

第三回小学生の ための企業訪問

地域社会を実地に学習



牛乳がでるまでを学習する子供たち

南門市商工会青年部(西村浩利部長)が青少年育成事業の一環として三年前から実施している「小学生のための企業訪問」が、七月二十八日、市内の小学生三十八人が参加して行われました。
これは、地域社会を勉強している小学生たちに机上だけでなく実際に企業を訪問し、その様子を勉強することによって地域社会への理解を深めてもらうとともに、郷土愛を培ってもらうという目的

で行われているものです。
この日は、午前九時に商工会館前を出発。最初の訪問先である「ひまわり乳業南国工場」に向かいました。まず、工場内を見学し、できたばかりの牛乳を飲みながら工場長に牛乳がでるまでの説明を受けた後、次々に質問をしながら熱心にノートにメモを取っていました。